

長崎大教育 ○石崎 ダイ
活水女短大 岩原 シゲ

1. 各種糊料中、CMCが防汚性、洗浄性ともにすぐれていることは認められたが、Nylonに対しては、0.01%の糊付けでも原布より剛くなるので、CMCに柔軟剤の配合を試み、昨年のものでカチオン系の柔軟剤配合効果について報告した。今回は両性活性剤と、非イオン系の柔軟剤を配合した糊につき、汚染性、洗浄性、剛軟度を検討した結果につき報告する。

2. 糊料と濃度…CMC 0.01%, 柔軟剤D₁…TAFLO-N 602, D₂…TAFLO-N 902S, D₃…TAFLO-N S 100, 柔軟剤濃度C₁…0.05%, C₂…0.1%, C₃…0.5%, CMC:柔軟剤の配合比M₁…100:0, M₂…80:20, M₃…60:40, M₄…40:60, M₅…20:80, M₆…0:100.

糊付け温度は常温、糊付け法、汚染法、洗浄力試験法は前報の通りで光電反射率計を用い、常法に従って汚染性、洗浄性を検討した。剛軟度は45°カンチレバ法により測定し、結果は推計学的処理をおこない有意差を出した。

3. 防汚性はD₁D₂D₃配合糊間に顕著な有意差は認められず、CMCのみの糊付け布が防汚性大で、柔軟剤の濃度が高く、配合比が多くなるとその効果は低下する。しかし原布より防汚性は大きくなるものが多く、殊にD₁D₂はよい。D₁配合糊の洗浄性をみると、精練布よりすべて上回り効果が認められたが、M₁より劣り、M₃配合比の0.1%が他に比しすぐれている。剛軟度はM₁は原布より稍剛くなるが、M₃の0.1%のものが原布に近く、洗浄性ととも、良好な結果を示した。D₂D₃についても更に検討し報告する。